

方部出張型政策研究会 TopicsNo.2

第2回政策研究会〈令和元年7月16日 白河市大信庁舎〉

「90歳ヒアリング」を行いました！

第2回研究会では、県南版「90歳ヒアリング」を行いました。

「90歳ヒアリング」とは、東京都市大学環境学部古川柳蔵研究室で、研究の一環として行っている手法で、90歳前後（戦前の暮らしを体験された方）の高齢者の方々に直接お話を聞かせていただき、戦前の暮らしについて分析し、その中から忘れ去りつつある暮らしの知恵や感性、地域に伝承されている地域らしさを再発見し、未来の暮らし方にその仕組みを活かしていくものです。

研究会では、まず、古川先生からヒアリングの方法についての講義を行った後、実際に県南地域に暮らす高齢者の方からヒアリングを行いました。

今回は、白河市大信地区にお住いの「岡崎りい子氏」、
「菅森勝男氏」の2名に参加いただき、昔の大信地区での暮らしの様子について、2時間じっくりお話をお伺いしました。



食事について

・岡崎氏

ごはんは麦ごはんです。麦も自分の家の畑に作って。その麦を収穫して、ご飯に混ぜて麦ごはんでした。調理は、毎期を焚いておかずもみんな煮ました。今みたいに電気は全然ありませんでした。食は粗末でしたね。食べるものはどの家もみんな作っていました。魚は新潟の方からくる行商人から買って鮭やイワシなどを食べていました。魚は食べる量だけ買いました。保存する冷蔵庫も無いですから。野菜は白菜、ネギ、ジャガイモ。漬物や煮物で食べました。味噌は1年に1度家で作っていました。飲み水は井戸でした。

・菅森氏

うちも味噌を作っていました。多く作る家は3年くらい食べました。食べ物については、岡崎さんと同じです。漬物は糶を入れて大根のきり漬けを作っていました。

おやつについて

・岡崎氏

おにぎりです。麦ごはん。漬物でおにぎりを食べる。今みたいにお菓子なんて買えませんから。おにぎりの中には何も入れないです。経済的に甘いものは買えなかったです。

・菅森氏

おにぎりに味噌をつけたり。夏はきゅうり漬けを食べました。きゅうりは家で作っていました。甘いものは干し柿くらいです。

遊びについて

・菅森氏

川に水浴びに行きました。川を石で止めて深くして。それから魚採りもやりました。石の中に潜っている魚を手でつかむんです。うぐいやドジョウ、鮒とか。田んぼでドジョウ獲りもしました。獲ったドジョウは家で食べたり、魚屋さんに売ったり。蛭とりもやりました。今も変わらないのはカブトムシ、クワガタとり。冬は竹スケートやスキーを自分で作って滑ったりしました。あとはかるたとり。

・岡崎氏

女の方は小豆を入れたお手玉をやっていました。それからバタ（竹を薄く切ったもの）で遊びました。

家の仕事（手伝い）について

・岡崎氏

農家です。田んぼの雑草を手で取りました。泣き泣きやりました（笑）。田植えの靴は無いし。裸足で田んぼに入ると麦を刈ったところが足に刺さって痛いんです。

・菅森氏

もともと農家です。子どものとき、田植え前に馬をつかって田んぼの土を柔らかくする鼻とりをしました。

・両氏

蚕をおきました。繭を売ってそれを収入に。繭が一番の収入でした。田んぼが終わると、今度は蚕で。年4回、多い人は6回くらい。

交通手段について

・岡崎氏

乗り物がないので、三里でも四里でも歩きました。道路は舗装も無くてでこぼこでした。白河市へは昔は歩きでした。（10 kmくらい）

・菅森氏

夜は提灯を持って歩きました。戦前はタクシーもありましたが、戦後は一旦停止になって、戦後はバスでした。

まとめ

岡崎氏、菅森氏のお二人からは、昔の暮らしについて、大変貴重なお話をお伺いすることができました。

研究員はメモを取りながら熱心に聞き入っていました。



今回行ったヒアリングの内容（仕組み）を各研究員が描いた厳しい環境変化（制約）の下での「心豊かな暮らし」に活かしていきます。

次回は、今回のテーマの背景となる「新たな自治体行政の考え方」、「政策形成とは」について講義演習を通じて学んでいく予定です。